

平和の灯から採火した炎で、石段に「祈」の文字をかたどった広島東照宮＝5日午後7時50分ごろ、広島市東区二葉の里2丁目



平和祈る灯 1000本ほのか

広島きょう原爆の日

「原爆死没者慰霊式から採火した炎が、平和祈念式」前日の石段に「祈」の文字をかたどる中、参拝者がある七つの社寺で「夏雨にぬれる境内で犠牲者の夜、祈りと平和の夕者の冥福と平和を祈るべ」（七社寺会など主催）が開かれた。広島東照宮では平和記念公園内の「平和の灯」

（5面に関連記事）
主催者によると、1945年8月6日、爆

心地から約2〜4キロに
ある7社寺は救護所とな
り、収容された被爆者
に懸命の治療が行われ
たが、多くの命が失
われた。

計約千本のろうそく
が照らす参道で、静岡
県伊東市から訪れた熱
海高3年斉藤亜美恵さ
ん（17）は「同じ日本
人として、被爆して亡
くなった人たちがどん
な気持ちだったのか
考えさせられます」と
揺れる炎を見つめてい
た。

6日は愛媛大の学生
たちが広島東照宮を訪
れ、久保田訓章宮司
（82）から被爆体験を聞
く。（中田佐知子）